

ブルキナ・ファソ農村における女性互助組織の研究

平成 20 年入学
エチオピア・フィールドスクール
調査国：ブルキナ・ファソ
神代ちひろ

キーワード：農村，互助組織，生業，現金稼得，女性

自分の研究テーマについて

農村における女性互助組織について、西アフリカの内陸国、ブルキナ・ファソにおいて調査・研究を進めている。ブルキナ・ファソでは、他のアフリカ地域と同様に農村部から都市部へと職や教育を求めた女性の出稼ぎが増加していることが報告されている。しかし、首都から北西約 250km に位置するパサコンゴ村での女性はほとんど出稼ぎ経験がない。

パサコンゴ村における生業は農業であり、女性はそのほかに菜園で育てた野菜の販売、地酒作りやシアバターへの加工、土器作りや肉・魚売り、揚菓子作りなど、複数の手段で現金稼得活動を行っている。女性が自分自身で得た収入は、食費の補填や服の購入、更なる現金稼得への投資など自分で自由に使い道を決めることができる。また、パサコンゴ村には 13 の女性互助組織が存在し、活発な活動を行っている。ある組織は菜園を所有しており、毎月会費を払うと野菜の自由な栽培、消費、販売ができる。また他にソルガムの商取引や頼母子講のような活動も行っている。これまで、これらの活動と女性の出稼ぎとの因果関係はあまり注目されてこなかった。

そこで、本研究では多様な女性の生業や現金稼得活動、家計のやりくりについて調査し、女性互助組織が女性の生活の中でどのような意味や役割を持っているのかを明らかにする。互助組織の役割をミクロな視点で分析した上で、出稼ぎを含めた農村女性の生活実践について考察する。



写真 1. [ブルキナ・ファソ] 菜園の草むしりをする母娘



写真 2. [同左] シアバターへの加工

フィールドスクールから得られた知見について

演習の一環で、研究員・普及員・農民が連携して農業技術の研究開発や普及に取り組む FRG プロジェクトを訪問した。農民が抱えている問題から出発し、普及までの過程において農民のニーズとすり合

わせながら技術の開発が行われ、その技術が多くの農民に普及されることを目指してプロジェクトが進められている。

プロジェクトに関わる農民を訪問した際、携帯電話を使用して市場の情報を入手する活動に取り組む農民は、市場でその日に高値で売れるものが把握できて効率よく販売ができると話していた。また、野菜栽培やウシの飼育に取り組む農民は、活動によって現金収入が増え、住居も改築することができて嬉しいと話した。プロジェクトにより農民の生活に変化が現れているようであった。

プロジェクトサイト訪問の道すがら、私たちを追いかけてくる子どもや、訪問には無関心で働いているひとたちを見た。プロジェクト説明や報告書からは見えてこないような、参加に消極的な農民や不参加の農民の存在をこれまで想像したことがなかったわけではない。しかし現場に身をおいてみると、かれらとプロジェクト、それに参加する農民との関わりは自分が思っていた以上に密接なものであることを実感した。隣の住人が家を改築したときや、その日の市場で思うような販売ができなかったときに、プロジェクトに参加していない農民はなにを思うのか。将来、一部の農民によって開発された技術をどう受け取るのか。

住民と相互に学びあい、住民の目線での真のニーズ実現を目指した開発援助が実践されて久しい。しかしそのような取り組みがなされる中、もう少しミクロなレベルに注目すると、関わる住民はいまだに限定された「住民」であることを、今回の訪問で改めて考えさせられた。



写真3. [エチオピア]コーヒーをいただく：改築した家にて 写真4. [同左]魚市場：獲れたてのティラピア

フィールドスクールで学んだことがどのように研究テーマにいかせるか？

博士予備論文で主に取り上げる女性互助組織Hは、村の中年女性を中心に参画され、発足した。発足当時43名だったメンバーは、増減を繰り返しながら現在53名となった。今後、全メンバーへの個別聞き取りの際は参加のきっかけや組織内での自己実現度について、脱退したメンバーの追跡調査の際は脱退の理由について、注意深く聞き取り調査を行いたい。また、組織に参加していない女性への聞き取りも行い、これら三者三様な立場から女性互助組織がどのような個々のニーズ実現の場であるのか、加入していない村びととの関係はいかなるものかを明らかにしたい。これらを踏まえて女性互助組織の役割について分析し、考察を深めたい。また、将来的にはこれら在地の互助組織と、開発援助により発足した組織を比較し、それに関わる住民の姿勢や特色の違い、さらには参加をしない周囲の住民との関係も考察していきたい。

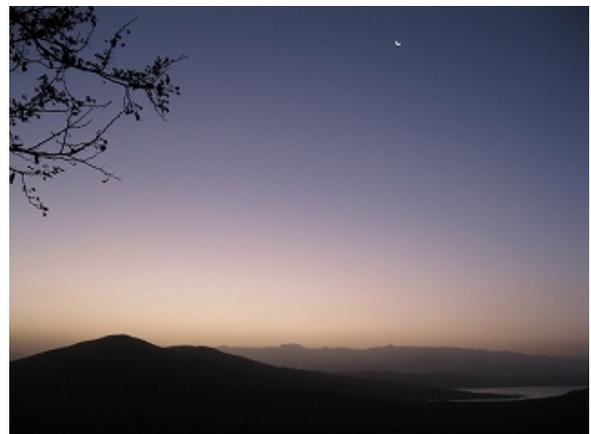


写真5. [エチオピア] アルバミンチ：夜明け